

研究実施のお知らせ

2024年7月31日 ver.1.0

研究課題名

大腸癌肝転移を対象とした、至適治療戦略の探索的研究

研究の対象となる方

2017年1月から2024年6月の間に島根大学医学部附属病院で大腸癌肝転移と診断された患者さん

研究の目的・意義

2022年の全国がん登録において、大腸癌は肺癌に続き罹患数が2番目に多い癌腫です。他の消化器がんと比較し、大腸癌は遠隔転移巣の切除が可能な場合、長期予後が期待できるため、さまざまな治療戦略で積極的に肝切除を目指します。しかし、肝切除に伴う合併症は重篤な転帰をたどり不利益となる場合もあるため、どの患者さんに肝切除を実施するか、どのタイミングで実施するかは非常に重要です。

そのため、大腸癌肝転移の患者さんに対する効果的な治療法を適切に行うためには具体的な適応基準や使用する抗がん剤の種類に関する情報が必要です。

今回、当院で大腸癌肝転移に対する治療を受けられた患者さんをしらべ、今後の治療介入の判断の一助につなげることが目的です。

研究の方法

研究対象者である患者さんの診療記録から、年齢、性別、身長や体重などの身体情報や治療中の血液検査や画像検査の情報を抽出します。

本研究で用いた、個人情報に関する情報は個人を識別できない状態にして取り扱います。研究対象である患者さんの識別は登録番号によって行い、収集データは、島根大学医学部 消化器・総合外科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限し、外部への持ち出しは行ないません。

研究の期間

2024年9月26日～2025年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部消化器・総合外科学講座が行います。／この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 日高 匡章

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院消化器・総合外科

[研究責任者]

日高 匡章

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年7月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座／附属病院消化器外科 谷浦隆仁

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229